

安全データシート

改訂日2018年9月7日

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : 硫酸インジウム(Ⅲ)n水和物
会社名 : チカモチ純薬株式会社
住所 : 大阪市北区大淀南1-9-16(山彦ビル)
担当部門 : 営業部
電話番号 : 06-6453-2062
FAX番号 : 06-6453-2063

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性

可燃性固体 : 区分外
自然発火性固体 : 区分外
水反応可燃性化学品 : 区分外

健康に対する有害性

眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 : 区分2A
特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露) : 区分1(肺、骨格、消化管)

絵表示またはシンボル



注意喚起語 : 危険
危険有害性情報 : 長期または反復暴露による肺、骨格、消化管の障害
注意書き : 粉じん、ミスト、蒸気などを吸入しない。
安全対策 : この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしない。
救急処置 : 取扱い後はよく手を洗う。
廃棄 : 気分が悪いときは、医師の処置を受ける。
 : 内容物や容器は関係法令に基づき適正に処理する。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別 : 単一製品
化学名又は一般名 : 硫酸インジウム(Ⅲ)n水和物
成分及び含有量 : 硫酸インジウム(Ⅲ)n水和物 99.0%以上
化学特性(示性式) : $\text{In}_2(\text{SO}_4)_3 \cdot n\text{H}_2\text{O}$

CAS番号 : 13464-82-9 (無水物として)
官報公示整理番号 (化審法・安衛法) : 1-751

4. 応急措置

吸入した場合

直ちに新鮮な空気のある場所に移し、鼻をかませ、うがいをさせる。

皮膚に付着した場合

直ちに付着部を多量の水で十分に洗い流す。

目に入った場合

直ちに流水で十分に洗い流す。

飲み込んだ場合

直ちに水または食塩水を飲ませて吐かせる。必要に応じて医師の処置を受ける。

応急措置をする者の保護

救助者はゴム手袋と密閉ゴーグル等の保護具を着用する。

5. 火災時の措置

消火剤

: この製品自体は、燃焼しない。水噴霧が最適。

特有の消火方法

: 速やかに容器を安全な場所に移す。移動不可能な場合は、容器および周囲に散水して冷却する。

消火を行う者の保護

: 消火活動は風上より行い、適切な保護具 (手袋、眼鏡、マスク) を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立入りを禁止する。

漏出時の処理を行う際には、必ずゴム手袋、保護眼鏡、保護衣等を着用すること。

環境に対する注意事項

流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起ささないように注意する。

漏出物を直接に河川や下水に流してはいけない。

回収、中和

飛散したものは掃き集めて空容器に回収する。飛散した場所は水で十分に洗い流す。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策 (局所排気・全体排気等)

皮膚に付いたり、粉じんを吸入しないように必要に応じて適切な保護具を着用する。

注意事項

みだりにエアロゾル、粉塵を発生しないように取り扱う。

保管

適切な保管条件

吸湿性があるので、容器は密栓して冷暗所に保管する。
安全な容器包装材料
ガラス、ポリエチレン、ポリプロピレンなど

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策

取扱いについては、できるだけ密閉装置を設置した場所で行う。
取扱い場所の近くに、目の洗浄及び身体洗浄のための設備を設置する。
粉塵が発生する場合は、局所排気装置を設置する。

許容濃度

日本産業衛生学会(2009年度版): 3 µg/l(インジウム化合物として)
ACGIH(2009年度提案) : 0. 1mg/m³(インジウム化合物として)

保護具

呼吸器の保護具 : 防塵マスク、簡易防塵マスク
手の保護具 : 保護手袋
眼の保護具 : 保護眼鏡(ゴーグル型)
皮膚及び身体の保護具 : 保護服、保護長靴、保護前掛け

9. 物理的及び化学的性質

外観(物理的状態、形状、色など) : 無色～白色の結晶及び結晶性粉末
臭い : 無臭
pH : 知見無し
融点・凝固点 : 知見無し
沸点、初留点及び沸騰範囲 : 知見無し
燃焼性(固体、気体) : 無し
比重(相対密度) : 3. 44g/cm³(20°C)
溶解性 : 水に易溶

10. 安定性及び反応性

反応性 : 知見無し
化学的安定性 : 通常の手扱い条件において安定である。吸湿性あり。
危険有害反応可能性 : 知見無し
避けるべき条件 : 混触危険物質との接触。
混触危険物質 : 強酸化剤
危険有害な分解生成物 : 硫酸化物

11. 有害性情報

急性毒性 : 知見無し。
特定標的臓器・全身毒性-反復暴露 : 長期または反復暴露による肺、骨格、消化管の障害(区分1) インジウムおよびその化合物は骨格、消化管系への影響および特に肺への混入による有害性がある。

12. 環境影響情報

土壌中の移動性 : 物理化学的性質からみて水域、土壌環境に移動する可能性が有る。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 : 都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託処理する。

汚染容器及び包装 : 空容器を廃棄する場合、内容物を完全に除去した後に処分する。

14. 輸送上の注意

国内規制 : 適用法令なし

国連分類 : 該当しない

輸送の特定の安全対策 : 直射日光を避け、容器の漏れのないことを確かめる。落下、転倒、損傷がないように積み込み荷崩れの防止を確実に行う。

15. 適用法令

消防法 : 非該当

毒物及び劇物取締法 : 非該当

化学物質管理促進法 : 第2種指定化学物質(政令第9号)(改正前)

第1種指定化学物質(政令第44号)

労働安全衛生法 : 政令別表第3特定化学物質障害予防規則(第2種物質)法第57条(令第18条)名称等を表示すべき有害物法第57条の2(令第18条2)名称等を通知すべき危険物及び有害物(政令第58号)

16. その他の情報

詳細情報

この安全データシート(SDS)は、JISZ7253:2012に準じており、記載されている内容は、発行時点において、入手可能な情報・データに基づいて作成しています。運搬・開封から廃棄に至るまで、安全を最優先に、ご自身の責任においてご使用下さい。また、ここでの注意事項は通常の手配り方をすることを前提に記載しており、他の製品と混ぜ合わすなどの特殊な取扱い方法は想定しておりません。その際は、使用環境に適した安全対策を自ら実施し、安全確保の上、ご利用下さい。なお、全ての製品には、未知の危険性を有する可能性があります。新たな知見が得られた時は、許可無く変更する場合があります。また、物性値や危険有害性情報などは、弊社製品規格書等とは異なることもあります。いかなる保証をなすものでもありません。